

ナマコ種苗の出荷再開について

【要旨】

一般社団法人岩手県栽培漁業協会（以下、栽培協会）は、今年度、東日本大震災津波以降初めて、ナマコ種苗23万個を県内漁協に出荷することとしており、6月18日に1万5600個を初出荷します。

なお、本県で漁獲されるナマコは、干しナマコの材料として評価が高く、震災直前の平成21年度から種苗放流を開始しており、種苗放流の再開が強く望まれていたものです。

1 出荷予定のナマコ種苗について

(1) 出荷数量及びサイズ

23万個 体長30mm

※ 放流したナマコ種苗は、早いもので放流後2～3年で漁獲サイズに達します。

(2) 生産の経過と計画

- ・ 平成26年7～8月に採卵・飼育した種苗約8万個を、今年6～7月に出荷。
- ・ 平成27年7～8月に採卵・飼育する種苗の半数（約15万個）を、今年11月～来年2月に出荷。

※ 平成27年度に採卵・飼育する種苗の残り半数は、平成28年5月以降に出荷。

(3) 震災前のナマコ種苗出荷状況

ア 平成21年度：21万個（主に試験放流）

イ 平成22年度：59万個

ウ 平成23～26年度：出荷なし

※ 本県では、平成19年度からナマコ種苗生産に取り組み、震災直前の平成22年度から本格的に生産・出荷を開始。

平成23年度、震災により、出荷直前の約40万個の種苗が流出以降出荷なし。

2 当日（6月18日）の作業日程について

(1) 出荷場所

（一社）岩手県栽培漁業協会（種市事業所）

(2) 出荷先

種市南漁協、吉浜漁協、越喜来漁協、綾里漁協及び大船渡市漁協

(3) 参考

① 作業予定

ア 水槽からの種苗取り上げ作業 9:00～9:15

イ 運搬車両への積み込み作業 9:15～9:30

② 当日の出荷個数

15,600個